



但馬国府・国分寺館ニュース

編集・発行

2013.11 第35号

但馬国府・国分寺館
Museum of Tajima Kokufu and Kokubunji

〒669-5305 兵庫県豊岡市日高町祇布 808
TEL 0796-42-6111 FAX 0796-42-6112
http://www3.city.toyooka.lg.jp/kokubunji/



仙石家旧蔵品 左から、金団扇、刀筒、塗空穂、仙石秀久所用鞍。仙石家の紋所である永楽銭紋が各所に見える。



第31回企画展

出石の殿様 -山名氏と仙石氏-

豊岡市^{いずし}出石町は、出石城主^{まさあきら}仙石政明にゆかりをもつ皿そばや、出石焼で知られる但馬の小京都。出石には、南北朝時代から江戸時代にかけて、有子山城や此隅山城、出石城など多くの城が築かれ、各城主は但馬の中世・近世史の中で、大きな役割を果たしてきました。

今回の展覧会では、但馬における中世・近世の支配者「殿様」の実像を、考古資料や歴史資料、工芸品などから概観します。戦乱の時代を生き抜いた殿様の姿から、動乱期の豊岡・出石に思いを馳せていただければ幸いです。

■会期 平成25年11月28日(木)～
平成26年2月25日(火)

■展示協力機関・個人 (50音順・敬称略)

出石皿そば協同組合 出石史料館 出石神社
円通寺 豊岡市立出土文化財管理センター
兵庫県立考古博物館
岡田章一 篠宮正 西尾孝昌

● 城下町、出石の歴史

豊岡市出石町は、但馬の小京都ともよばれる城下町。古来より、『古事記』の神話にアメノヒボコが登場するなど、但馬の中心として繁栄してきた地域です。

室町時代には、山名祐豊が標高 321 m の山上に豪壮な有子山城を築き、守りを固めていました。江戸時代に入ると、小出吉英が有子山の麓に出石城や城下町を築き、その後は信州上田藩より移封された仙石氏が、幕末まで藩主を務めました。山名・小出・仙石は、但馬の中・近世史を語る上で欠かせない氏族なのです。



有子山城跡から見た出石の町並み

● 守護大名の雄、山名氏

山名氏は、室町幕府屈指の有力守護で、山陰を中心に強い勢力を持っていました。14 世紀には、伯耆国（鳥取県）を拠点に但馬など 11 か国の守護を務め、全国 66 か国のうち 6 分の 1 を占めたことから、「六分一衆」と称され、室町幕府最大の勢力を誇りました。

但馬に山名氏が定着したのは、文明 11 年（1479）、山名政豊が但馬守護だった時。一族間の争いや、播磨を支配していた赤松氏との関係悪化に危機感を抱き、領国の支配を固めるために、但馬に館を構えたことによります。



『山名宗全巻数請取状』
豊岡市竹野町・円通寺蔵

豊岡市小田井にある小田井神社が山名氏に祈禱をおこなったことに対して、山名宗全が謝意を伝えたもの。



塑像 山名時熙像
豊岡市竹野町・円通寺蔵

● 山名氏の守護所

守護所は、守護が国内を支配する政治・行政の拠点。豊岡市出石町宮内にある宮内堀脇遺跡は、15 世紀末に築かれた山名氏の守護所です。

宮内堀脇遺跡は、山名氏の本拠地である此隅山城の麓にあります。発掘調査では、武家屋敷群をはじめ、堀や土塁などが見つかりました。堀の中からは、武器・武具類、土器や木製品など、上級武士たちが使っていたさまざまな道具が出土しています。



宮内堀脇遺跡遠景（南から）
兵庫県立考古博物館写真提供



宮内堀脇遺跡の発掘調査
兵庫県立考古博物館写真提供



武家屋敷跡から出土したさまざまな資料
兵庫県立考古博物館写真提供



人名墨書土器
兵庫県立考古博物館写真提供

● 出石の山城

出石には、此隅山城や有子山城など、山名氏が築いた山城が多く残されています。発掘調査はほとんどおこなわれていませんが、今でも大規模な曲輪や堀を見ることができます。



『但馬出石御城下絵図』 有子山城と出石城、その城下町が描かれています。



鳥居城跡遠景
兵庫県立考古博物館写真提供



発掘された鳥居城跡の曲輪
兵庫県立考古博物館写真提供

● 200年の藩主、仙石氏

仙石氏は、豊臣秀吉などに仕えた美濃国の豪族で、江戸時代には信州小諸藩と上田藩の藩主を務めていました。

宝永3年(1706)、4代・仙石政明は、出石へ所替の命を受け、出石藩の藩主となりました。その所領は播磨国加東郡・加西郡(現在の加東市・加西市)にもおよび、石高は5万8千石。政明以後の出石藩主は、政房、政辰、久行、久道、政美、久利と続き、明治時代までの約200年間、仙石氏が出石を治めていたのです。



仙石家初代、秀久公肖像画



仙石秀久所用具足 仙石家旧蔵品

Topics 仙石家の紋所

仙石家を代表する紋所は、「永楽銭紋」。永楽銭紋は、織田信長より与えられたと言われています。信長は旗紋として永楽銭紋を用い、臣下に下賜していました。

仙石家の紋所には、他に「丸に無の字」「五三桐」「桔梗花」「桜九曜」などが知られています。



仙石秀久所用鞍(部分) 仙石家旧蔵品

● 出石城 と城下町

出石城は、有子山城がある有子山の麓に築かれた、石垣をもつ近世城郭です。慶長9年（1604）、出石藩主小出吉英が有子山城を廃して築きました。

出石城は、東西400m、南北350mの範囲に小ぢんまりとまとまって造られています。平地には、堀で囲まれた三の丸が、その上の斜面には、二の丸、本丸、稻荷台などが階段状に築かれています。同時に城下町も整備され、現在の出石の町並みが形成されたのです。



出石城旧二の丸虎口
二の丸虎口に設けられた石段と、それを閉鎖して設けた新たな石垣が見える。

● 大庄屋、中和家

中和家は、豊岡市出石町三木^{みつぎ}にあり、江戸時代には大庄屋を務める家でした。大庄屋は村々を統治する庄屋を束ねる立場であり、藩からのお触れを各庄屋に伝えるほか、年貢米の徴収や簡易な裁判などもおこなっていました。

中和家には、藩主の来訪もたびたびあったようで、出石藩主仙石家の家紋が入った調度品をはじめ、書画や陶磁器などが数多く保存されていました。

平成24年3月、これらの調度品と江戸時代の住宅などが、豊岡市に寄贈されました。



中和家庭園



金襴手酒器 中和家旧蔵品



金襴手脚付盃洗 中和家旧蔵品



螺鈿時絵遊山箱 中和家旧蔵品



鳥形香炉 中和家旧蔵品

● 講演会のお知らせ

■ 「出石の城跡」

日 時：平成26年1月25日（土）午後1時30分～
会 場：但馬国府・国分寺館 映像ホール
講 師：西尾 孝昌氏（山名氏城跡保存会会長）
*聴講には入館料が必要です。予約は不要です。

■ 「出石の城主たちー有子山城・出石城ー」

日 時：平成26年2月15日（土）午後1時30分～
会 場：但馬国府・国分寺館 映像ホール
講 師：石原由美子（豊岡市教育委員会）
*聴講には入館料が必要です。予約は不要です。

● 但馬国府・国分寺館 ご利用案内



- 開館時間 午前9時～午後5時
(入館は午後4時30分まで)
- 休 館 日 毎週水曜日（祝日は開館し、翌日休館）
12月28日～1月3日
- 入 館 料 大 人 500(400)円
高 校 生 200(150)円
小中学生 150(100)円
* () は20名様以上
* 県内小中学生は無料
* 65歳以上の方は半額

■最新情報はホームページもご覧ください。
<http://www3.city.toyooka.lg.jp/kokubunjikan/>



国分寺館キャラクター
たじまる・くにひめ